

岩手県地域がん登録の現状

八重樫 雄一*

1. 事業の歴史

岩手県地域がん登録事業は平成 2 年 (1990) より岩手県の事業として発足した。がん登録の医学的専門性を考慮し事業の運営は、岩手県医師会が委託を受け、県庁の担当部長も加わる運営委員会を組織し運営している。

国の個人情報保護法の制定により、岩手県個人情報保護条例が平成 13 年 (2001) に施行された。本登録事業は同条例の審議会の審議を受け事業の継続が承認されている。

2. 登録システム

がん登録の実務については平成 3 年 (1991) に運営委員長が「がん登録実務規定」を作成し、数回の改正を行い (現在 55 頁)、この規定に従い専任職員が登録業務を行っている。

がん登録情報の入力・照合・集計、分析表の作成・各種計算の機能のコンピュータ化のために「岩手県がん登録システム」(岩手県 DBS) を平成 11 年 (1999) に作成し、作業能力の向上・正確性の向上を図っている。以

後十数回登録情報の改正追加・機能の向上を図り、現在は研究班の「標準 DBS」より数項目多い登録情報を処理している。このため「標準 DBS」は導入していない。

3. 地域がん登録事業報告書

岩手県はがん診断年別に、当該年終了 3 年後に事業報告書 (約 90 頁) を印刷・刊行している。報告書の主な構成内容は、①登録の概要 (約 15 頁)、②登録情報の集計表・分析表 (約 30 頁)、③付表 (約 10 頁)、④登録の要綱・規定、登録情報利用規定等 (約 20 頁) となっている。年齢調整がん罹患・死亡の年次推移は①の登録の概要の中に掲載し、各種人口及び全国・岩手県の各種がん死亡数値の推移は③の付表の中に掲載している。

4. 岩手県のがんの特長

主要部位のがんの特長を、平成 18 年の岩手県 3 年平均・全国単位値で表 1 に示した。(岩手県のがん罹患の把握率が低いため人口動態統計の年齢調整死亡率により表示した)

表 1. 岩手県のがんの特長

岩手県が少ない部位			岩手県が多い部位			岩手県少ない		
(2006)	岩手県	全 国	(2006)	岩手県	全 国	(2006)	岩手県	全 国
肺がん	23.1	25.6	大腸がん	18.5	16.9	全がん	134.4	137.8
胃がん	19.0	20.7	前立腺がん	10.5	8.4			
肝がん	9.5	14.3						

*岩手県医師会 岩手県地域がん登録運営委員会
〒020-8584 岩手県盛岡市菜園 2-8-20

5. 登録情報の開示

(1) 関係医師及び関係機関への開示:岩手県地域がん登録事業報告書を毎年2千部印刷し配布。

(2) 関係医師及び関係機関への登録情報提供:①報告書掲載以外の数値情報、②登録患者の予後情報、③個人同定を含む登録情報に分けて各々利用規定を定め提供。

(3) 岩手県地域がん登録届出状況:岩手県医師会のHPに随時掲載。

(4) 岩手県民への開示

- 1) 「岩手県のがんの現況についてー健康で長生きするためにがん検診を受けましょう」:岩手県医師会のHPに掲載ー平成13年より開始し、平成20年に内容を更新。現在内容は11頁。
- 2) 「知識をもってがんと闘いましょう」リーフレット4頁:平成14年は5万部印刷。平成20年に内容を更新し6万部印刷し、県民に配布。
- 3) 「がんの常識!あなたはどこまで知っていますか」リーフレット2頁:平成21年に11万部印刷し、がん検診受診対象者に配布中。

- 4) 「早期発見のためにがん検診を受けましょう」短時間のテレビ放映:平成21年5月より約500回放映中。(岩手県の広報:出演ーがん体験者の一般人・看護師と医師)

6. 岩手県のがん登録よりみたがん検診

がん検診の効果については平成9年(1997)より事業報告書の概要の中に毎年掲載している。

表2がん検診等で発見された患者の割合である。岩手県のがん検診発見率は、全国より大分高くなっている。

表3は、臨床進行度分類で限局がんと分類された患者の割合である。岩手県はがん検診等での発見率が高いためもあり、各主要部位共に早期(限局)のがんの割合が全国より大分高くなっている。

表4は、がん検診等での発見例と外来での発見例の5年相対生存率を示した。がん検診等で発見された場合には明らかに生存率は高くなっている。

岩手県の生存率の予後追跡率は約95%で、100%の場合より相対生存率が全がんでは約5%高くなっていると推定される。

表2. がん検診等での発見の割合

※上皮内がんは除く。がん検診等:がん検診、健診・人間ドックで発見された割合。

地域(年)/部位	全がん	胃がん	大腸がん	肺がん	乳女がん	子宮がん
岩手県(2003-2005年の平均)	21.7%	32.4%	30.4%	25.3%	21.0%	16.8%
全国(2003年31道府県合計)	11.3%	16.6%	14.7%	14.7%	12.6%	12.6%

(全国値は平成15年の全国がん罹患モニタリング集計よりの引用)

表3. 限局がんの割合

※上皮内がんは除く。全がんの進行度不明率:岩手県-20.6%、全国-34.7%。

地域(年)/部位	全がん	胃がん	大腸がん	肺がん	乳女がん	子宮がん
岩手県(2003-2005年の平均)	43.9%	53.7%	50.7%	25.3%	55.3%	44.4%
全国(2003年31道府県合計)	32.1%	36.4%	32.9%	20.8%	42.1%	39.8%

(全国値は平成15年の全国がん罹患モニタリング集計よりの引用)

表 4. 発見経緯別 5 年相対生存率

平成 11 年（1999）～平成 13 年（2001）診断例（上皮内がん等除く）

発見別	胃がん	大腸がん	肺がん	乳女がん	子宮がん	全がん
検診群	89.8 %	99.1 %	49.5 %	97.3 %	96.1 %	88.3 %
外来群	58.9 %	64.7 %	21.4 %	83.9 %	78.8 %	52.6 %
合 計	67.5 %	74.0 %	27.4 %	86.4 %	83.5 %	59.6 %
対象数	2,178	2,575	1,045	959	335	10,438